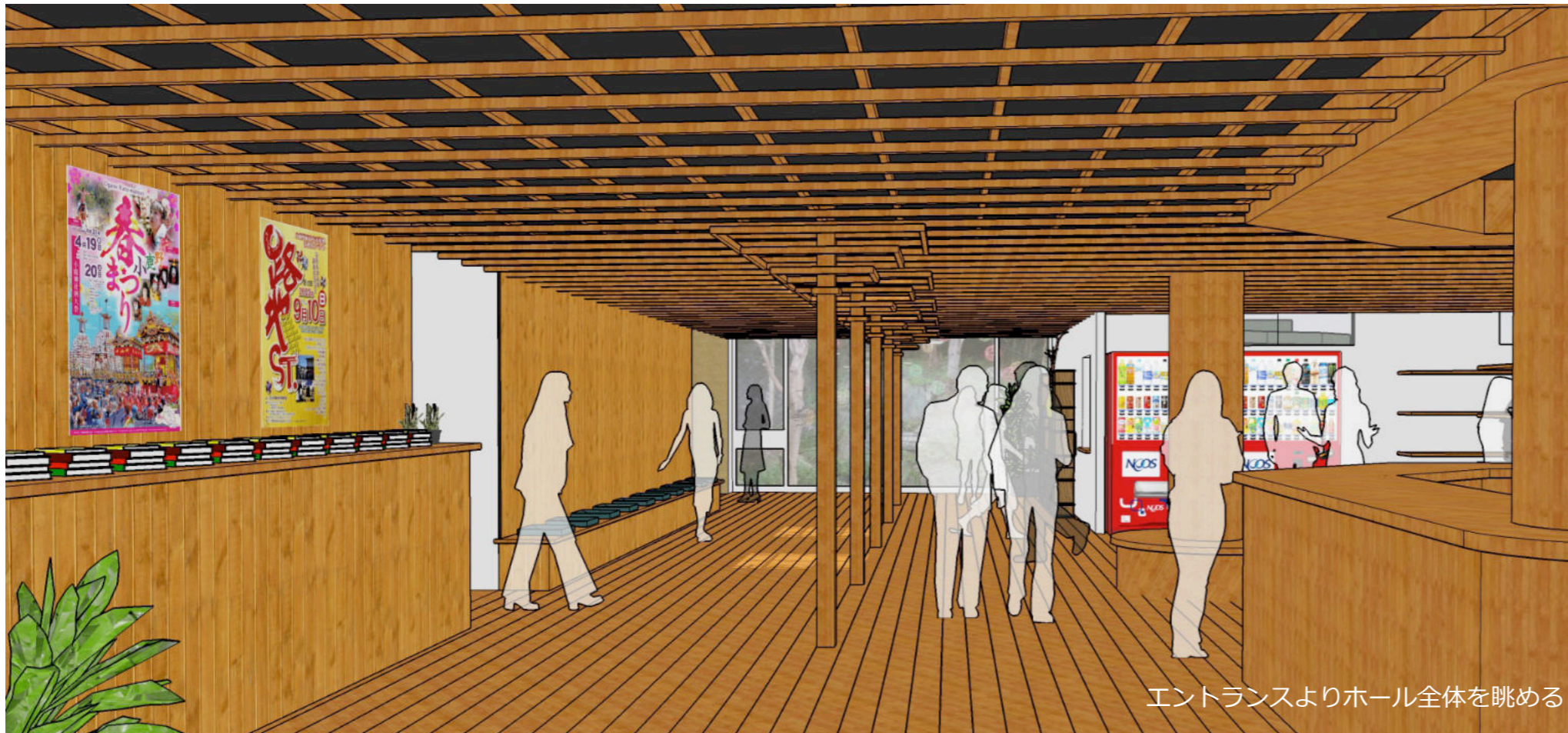


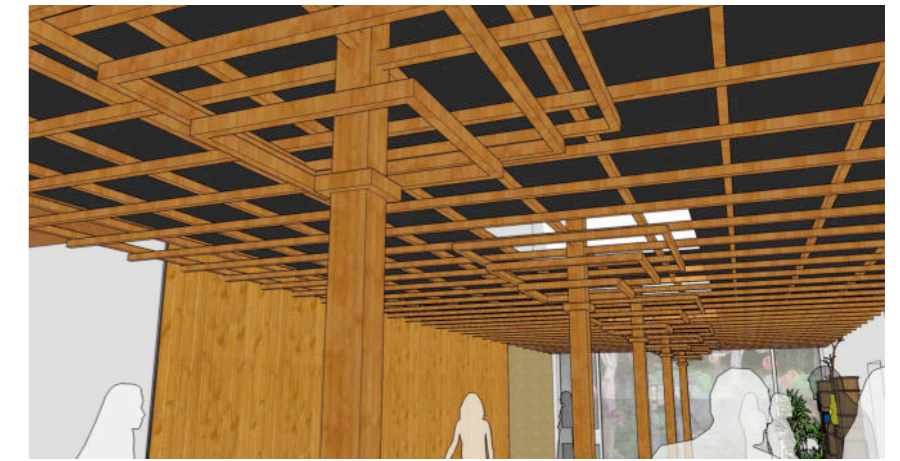
小鹿野町道の駅両神温泉薬師の湯リニューアル事業

薬師の湯 森の湯浴み

～格子の温泉詩（リズム）と共振する癒しの場所～



エントランスよりホール全体を眺める



樹木を模した柱と天井格子で木漏れ日を演出

薬師の湯 森の湯浴み ～格子の温泉詩（リズム）と共振する癒しの場所～

（基本思想）

道の駅両神温泉薬師の湯は、自然との調和、詩の美、そして伝統的な信仰が融合する場所として設計されました。このコンセプトの中心に薬師の湯が位置し、その存在はまるで自然と詩の美が一つになったような癒しのオアシスを象徴しています。

森の温泉詩（リズム） 温泉や自然の美に触発された詩的な表現です。薬師の湯は、「森の温泉詩（リズム）」というコンセプトのもと、詩のリズムが共鳴し、詩の美が施設内外に広がります。この詩の美は、滞在者の心に調和と響きをもたらし、その滞在を独特かつ特別なものにします。

格子の調和 施設内には、木製の格子が取り入れられ、自然光や風を取り入れながらプライバシーを守り、自然環境との共鳴を促進します。格子は詩のリズムを表現し、温泉と自然の美と調和する場を演出します。その結果、滞在者は心地よい格子の中で、自然の美に包まれた癒しのひとときを過ごします。

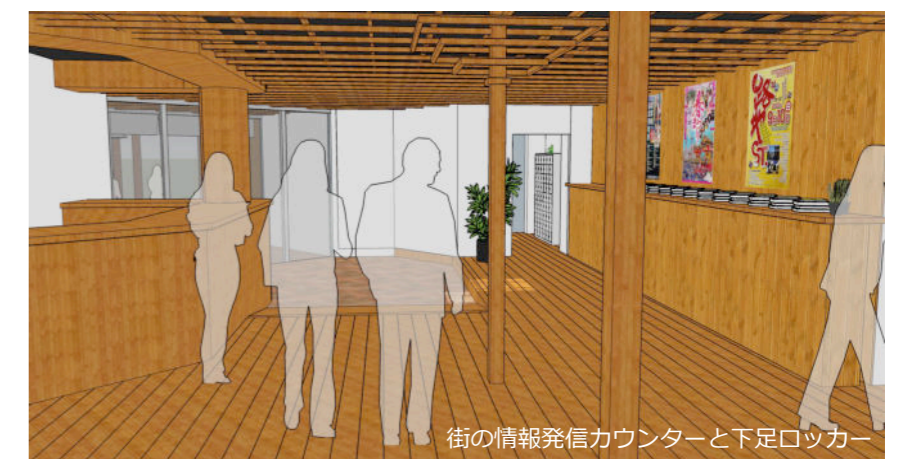
癒しの場所 薬師の湯は、格子の中でゆったりと過ごし、詩のリズムが響く穏やかな場所です。滞在者は、詩的な癒しと共鳴する独自の癒しの体験を味わいます。また、詩の朗読会や詩のワークショップなど、詩の文化との接点を楽しむこともできます。薬師の湯は、滞在者に温泉の癒しと詩の響きを共有し、特別な思い出を提供します。

自然との調和 「薬師の湯 森の湯浴み」は、自然との調和をテーマにしています。施設は四季折々の美しい自然景色と調和し、季節の変化を感じさせ、滞在者に自然の美しさを存分に楽しむ機会を提供します。薬師の湯は、自然と人間の共存と共鳴を象徴します。

アートと文化 薬師の湯では、アートと文化が詩のリズムと共鳴します。詩の一節やアート作品が施設内に配置され、滞在者に感動的な美的体験を提供します。詩と文化は、薬師の湯を彩り、滞在者に独自の文化的な体験を提供します。

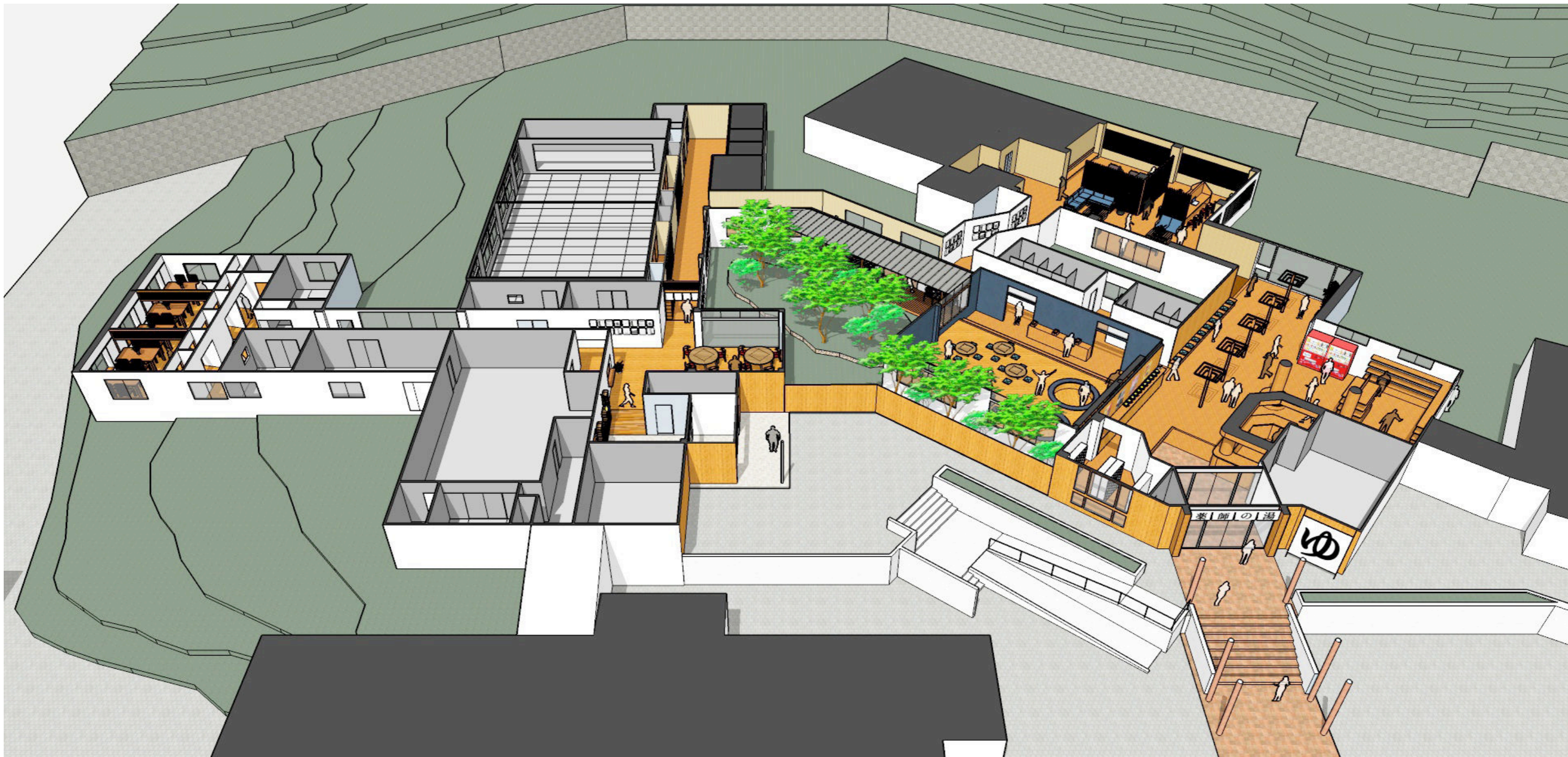


自販機コーナーと売店



街の情報発信カウンターと下足ロッカー

小鹿野町道の駅両神温泉薬師の湯リニューアル事業



全体計画

この計画では、施設の予算制約を考慮し、大規模な改修が必要な箇所を絞り込み、基本的には壁と天井の仕上げを改修し、一部の造作工事を行います。床は無垢の杉板で、その経年変化が良い味わいを出しているため、現状を維持します。大広間には特に目立った損傷がなく、使い方も改修後も同様なので、現状を維持します。管理スペース、厨房、便所、事務室などは現状維持とし、予算を効果的に使用します。なお、大規模な改修が必要な箇所は以下の4つです。

エントランスホール 森の雰囲気演出するため、樹木を模した柱と、天井に木漏れ日を演出する木格子を設置します。

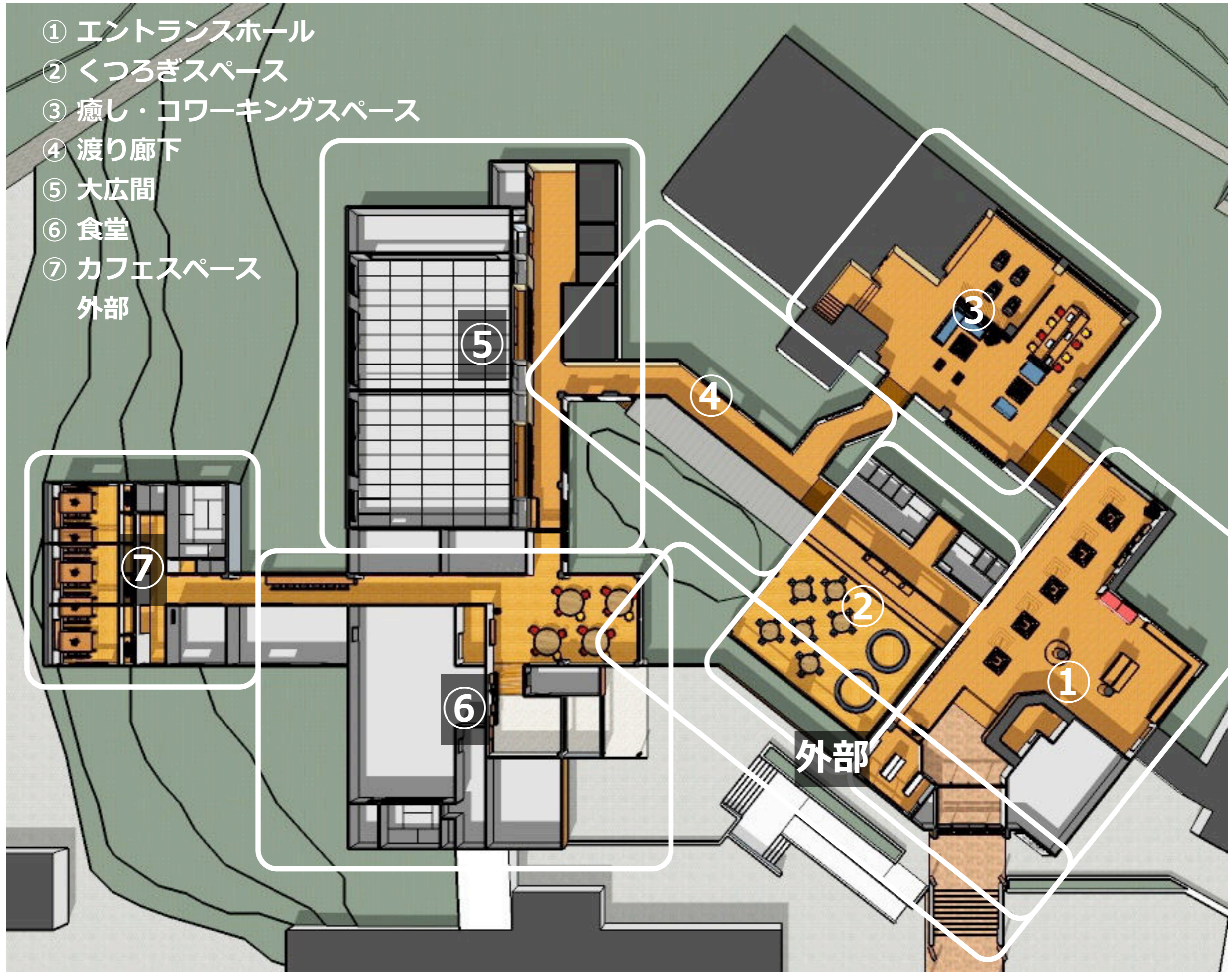
渡り廊下 中庭に底のあるデッキを設置します。

くつろぎスペース 現在の畳の床をフローリングに変更し、丸くくり抜いたソファと、壁一面の本棚を設置します。玄関ホール同様に格子を使った演出も行います。

カフェスペース 現在の畳の床をフローリングに変更し、全座席数を増やし、食事体験の多様性を促進します。また、食堂全体を土足利用に変更し、利用者の利便性を考慮します。

また、施設外部も見栄え良く改善し、訪れる人々に印象的な雰囲気を提供します。施設の魅力を向上させつつ、予算を抑えた改修計画を提案します。

- ① エントランスホール
- ② くつろぎスペース
- ③ 癒し・コワーキングスペース
- ④ 渡り廊下
- ⑤ 大広間
- ⑥ 食堂
- ⑦ カフェスペース
- 外部



改修内容まとめ

	エリア	室名	内装	造作	設備	什器 ※備品とする
①	エントランスホール	風除室	床（現状のまま）、壁（ビニールクロス）、天井（現状の上に塗装）			
		玄関	床（現状のまま）、壁（ビニールクロス）、天井（現状の上に塗装）			
		フロント	現状のまま	カウンター補修		
		ホール	床（現状のまま）、壁（ビニールクロス）、天井（現状の上に塗装）	飾り柱、天井木格子、ベンチ、飾り棚	照明器具変更	
		下足ロッカー	床（現状のまま）、壁（ビニールクロス）、天井（現状の上に塗装）	間仕切壁	照明器具変更	下足ロッカー（現状利用）
		売店	床（現状のまま）、壁（ビニールクロス）、天井（現状の上に塗装）	展示棚（壁付、独立）	照明器具変更	
		事務室	現状のまま			
②	くつろぎスペース (旧体験学習室A)	休憩室	床（畳 → 杉板張り）、壁（ビニールクロス）、天井（現状の上に塗装）	天井木格子、本棚、くり抜きソファ、ドリンクコーナーカウンター	照明器具変更	ちゃぶ台（6）、座布団（24） カーテン
		廊下1	床（現状のまま）、壁（ビニールクロス）、天井（現状の上に塗装）	ピクチャーレール		
		便所	現状のまま			
③	癒し・コワーキングスペース (旧ボディトレーニング室)	マッサージコーナー	床（現状のまま）、壁（ビニールクロス）、天井（現状の上に塗装）	格子間仕切り、ベンチ		マッサージチェア等（現状利用） ブラインド
		パソコンコーナー	床（現状のまま）、壁（ビニールクロス）、天井（現状の上に塗装）	格子間仕切り、パソコンデスク	パソコンデスク用電源	椅子（8）
		ラウンジ	床（現状のまま）、壁（ビニールクロス）、天井（現状の上に塗装）			ソファセット（2）
④	渡り廊下	写真ギャラリー	床（現状のまま）、壁（ビニールクロス）、天井（現状の上に塗装）	窓ふさぎ、ピクチャーレール	照明器具変更 ※ダクトレール	
		渡り廊下	床（現状のまま）、壁（ビニールクロス）、天井（現状の上に塗装）	腰窓を吐き出し窓に変更（1カ所）	照明器具変更	
		広縁	床（樹脂製デッキ材）、天井（杉野地板あらわし）、屋根（ガルバリウム鋼板）	デッキ、屋根	照明器具追加	テーブル（3）、椅子（6）
		手洗・便所	現状のまま			
⑤	大広間	廊下2	床（現状のまま）、壁（ビニールクロス）、天井（現状の上に塗装）	欄間付門構え、下足箱、暖簾		
		大広間（45+45畳）	現状のまま			
		ステージ	現状のまま			
		準備室・物置	現状のまま			
⑥	食堂	風除室	床（現状のまま）、壁（ビニールクロス）、天井（現状の上に塗装）			
		玄関	床（磁気質タイル上貼り）、壁（ビニールクロス）、天井（現状の上に塗装）			
		ホール	床（現状のまま ※一部、スロープにする）、壁（ビニールクロス）、天井（現状の上に塗装）	スロープ		
		食堂	床（現状のまま）、壁（ビニールクロス）、天井（ビニールクロス）			テーブル（4）、椅子（16）
		廊下ギャラリー	床（現状のまま）、壁（ビニールクロス）、天井（現状の上に塗装）	カウンター、ピクチャーレール	照明器具変更 ※ダクトレール	椅子（5）
		調理室・事務室・休憩室ほか	現状のまま			
⑦	カフェスペース	カフェ	床（畳 → 杉板張り）、壁（ビニールクロス）、天井（クロス部分貼替え）	段差解消スロープ		テーブル（9）、椅子（36） カーテン
		個室（和室）	現状のまま			
		便所	現状のまま			
		外部	外壁	杉板張り（キシラデコール塗装）、笠木（ガルバリウム鋼板）	暖簾、日除け幕	
仕切り	既製東石+桧柱、杉板張り（キシラデコール塗装）、笠木（ガルバリウム鋼板）					
中庭	樹木伐採（広縁に係る部分）					

外観のリニューアル

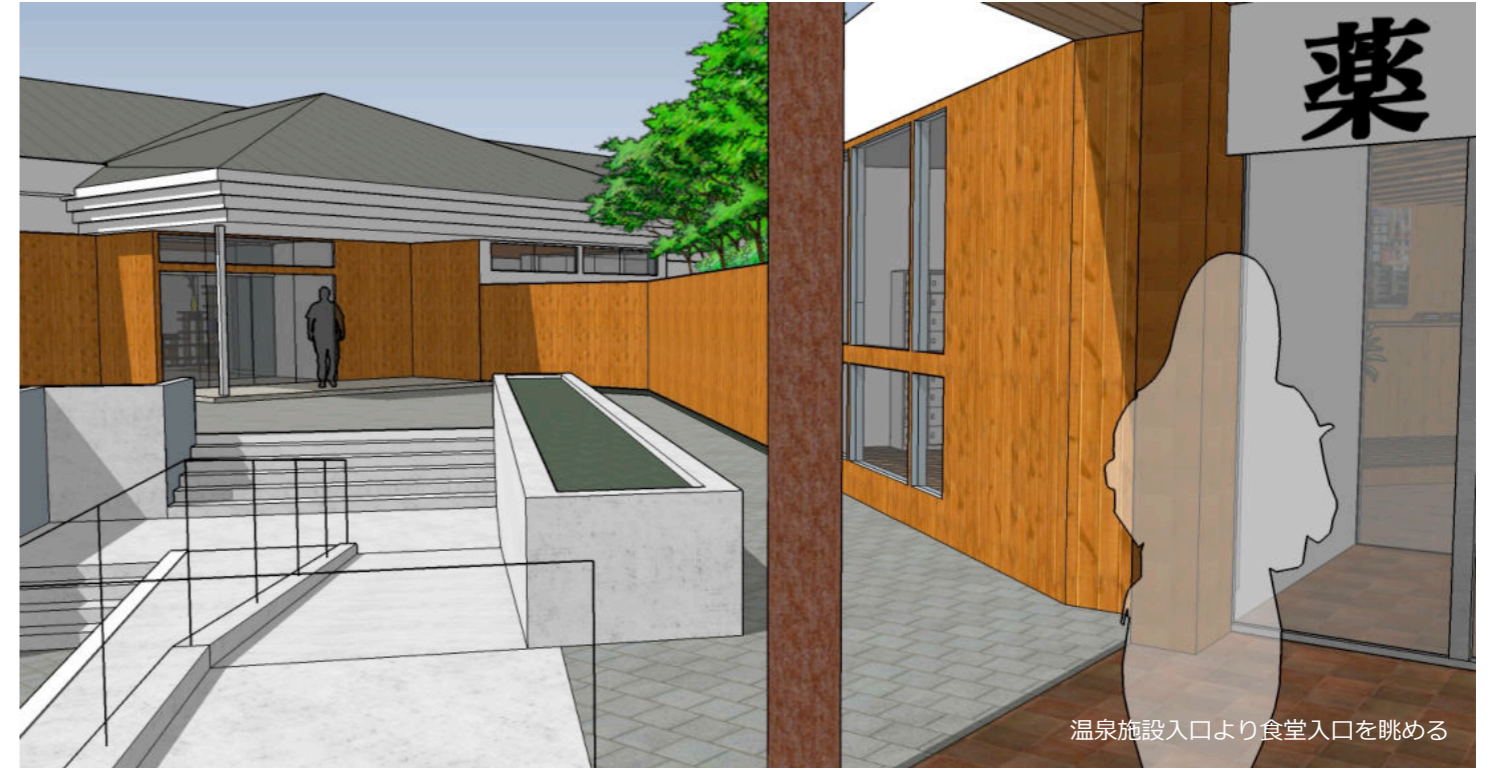
施設の外観をローコストで美しくリニューアルし、来館者のプライバシーを確保しながら、より魅力的な雰囲気を醸し出すことを目指します。

秩父産木材を活用 地元の秩父産木材を活用し、外部の外観を魅力的に一新します。木材は自然の温もりを伝え、地元らしさを強調します。木の温かみと風合いは、施設の外観をローコストで格段に美しく見せる効果的な手段です。

中庭のプライバシー強化 現状では中庭から施設内が見えてしまうという課題に対処し、来館者のプライバシーを確保するため、木塀を設置します。この木塀は外壁の板張りと同様一体感を持たせ、美しさと機能性を両立させます。来館者は中庭でくつろぎながら、他の来訪者からの視線を遮り、よりプライベートな環境を楽しむことができます。

入口の装飾 入口には伝統的な「暖簾」を設置し、施設の雰囲気を一層引き立てます。暖簾は来訪者を歓迎し、施設へのアクセスポイントを美しく示します。地元の文化と風習に敬意を払いながら、現代的な魅力を演出します。

玄関サイドの日除幕 玄関サイドには日除幕の看板を設置し、施設の存在感を高めます。この看板は施設の特徴や提供するサービスを視覚的に伝え、訪れる人々に期待感を抱かせます。





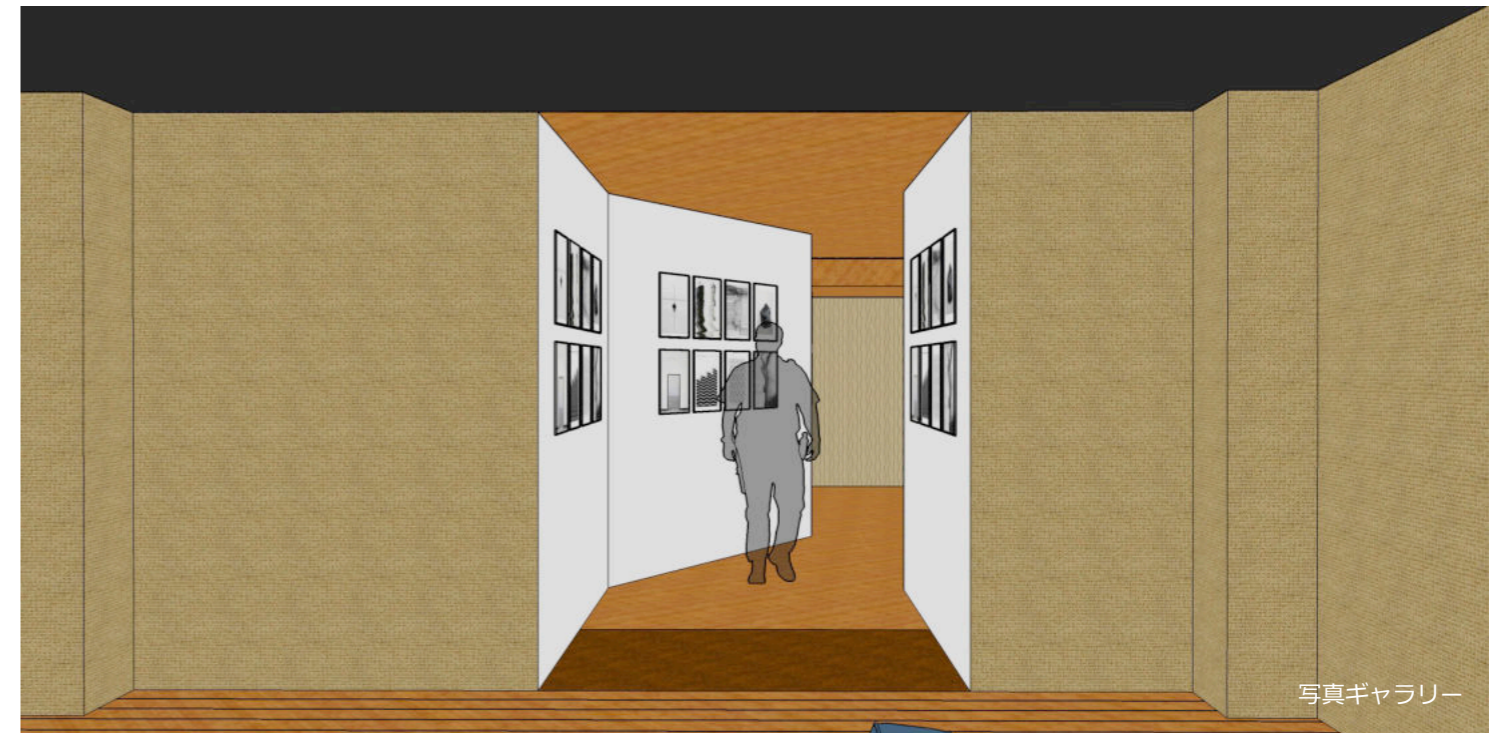
エントランスホールよりラウンジを眺める



ラウンジ・マッサージコーナー・パソコンコーナーは木格子で間仕切る



ラウンジよりエントランスホールを眺める



写真ギャラリー

癒し&コワーキングスペースのリニューアル

エリアごとに3分割し、各エリアを木のたて格子で仕切ります。このデザインは、自然の温もりを感じることができ、訪れる人々に心地よい癒しを提供します。各エリアは以下のように設定されます。

- ・ **マッサージコーナー** マッサージ機を備えたエリアで、疲れた体を癒す場所として提供します。木のたて格子が自然のリラックスを引き立てます。
- ・ **パソコンコーナー** リラックスしながら仕事や創造的な活動を楽しむ場所として提供します。木の格子は集中力を高め、クリエイティブな活動をサポートします。
- ・ **ラウンジ** ゆったりとしたソファや座席が配置されたくつろぎの場所で、訪れる人々が本を読んだり、飲み物を飲んだりできる空間です。木のたて格子が心地よいプライバシーを提供します。
- ・ **写真ギャラリー** 渡り廊下を「ギャラリー」として活用し、地元の芸術家や写真家の作品を展示します。訪れる人々は癒しの空間からギャラリーへと移り、芸術と自然の調和を楽しむことができます。

地元の才能を支援し、施設内に地域のアートを取り入れることで、施設に新たな魅力を加えます。



くつろぎスペースのリニューアル

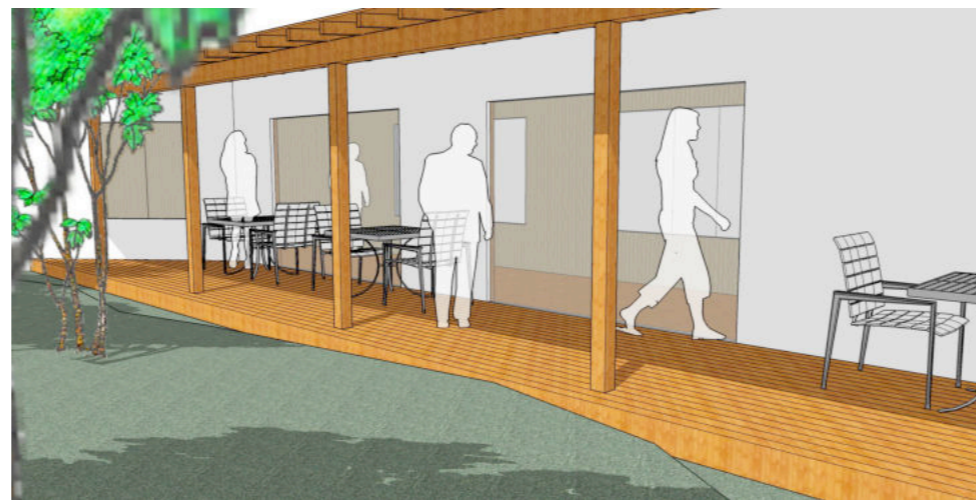
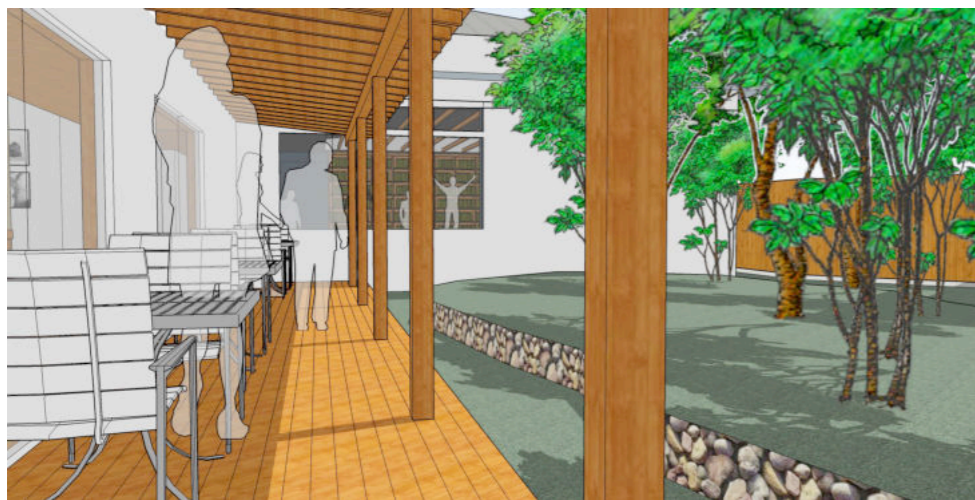
寛ぎスペースは、訪れる人々がリラックスし、読書や飲食を楽しむ場所として非常に重要です。訪れる人々に居心地の良い、自然と調和する空間を提供することを目的としています。

壁一面の本棚 豊富な読書材料を提供し、訪れる人々が知識を深めたり、リラックスしながら読書を楽しむことができます。

円形のソファ 床を丸くくり抜き窪んだ形状のソファを設置し、訪れる人々に快適な座席を提供します。ゆったりとした座席は中庭の自然の景色を楽しみながら寛げる場所を提供します。

ドリンクコーナー 訪れる人々に飲み物や軽食を提供し、自然の素材を活かした飲み物や地元の特産品を提供し、リラックスした食事体験を楽しむことができます。

木の格子と天井 天井に配置され、森の中で過ごすような雰囲気を出します。天井から差し込む光は、木漏れ日のように心地よい明るさをもたらします。



渡り廊下&中庭のリニューアル

渡り廊下は施設内の重要なエリアで、訪れる人々が異なるエリア間を移動する場所として機能します。このエリアのリニューアルは、プライバシーの確保と訪れる人々に快適な移動体験を提供することを目的としています。

窓の塞ぎと中庭のデッキ 北西側の窓を塞いで壁にし、視線を中庭に向かせます。中庭には底のあるデッキを設置し、訪れる人々が中庭を見ながら涼むことができる場所を提供します。このデッキは木製の素材を使用し、自然と調和した空間を演出します。中庭は木塀で塞ぎ、よりプライベートな空間となります。

食堂との区切り 大広間前の廊下に欄間や暖簾を設け、食堂との区切りを明確にします。これにより、食堂と大広間を分離し、上下足を分けることができます。浴室利用者と食堂利用者は渡り廊下入口にて分離され、よりスムーズな移動と利用が可能となります。



食堂・カフェスペースのリニューアル

食堂は施設内での食事と交流の場であり、利用者にとって重要なエリアです。この提案は、食堂のリニューアルを通じて利用者の利便性を向上させ、より居心地の良い食事体験を提供することを目的としています。

上足利用から下足利用への変更 食堂スペースを「下足利用」とし、上下足の分離を実現します。大広間前の廊下に区切りと下足箱を設け、大広間の利用も可能にします。これにより、浴室利用者と食堂利用者をスムーズに分離でき、食事の際にも快適さを提供します。

和室から一室への変更 現在、和室3室となっているエリアの壁床を畳からフローリングに変更します。これにより、和食から洋食までさまざまな料理スタイルに適用できる柔軟な設定とします。

玄関ホールの段差撤去 玄関ホールの段差を撤去し、土足で入ることができるようにします。これにより、利用者はスムーズに食堂にアクセスでき、バリアフリーな環境を提供します。

カウンター席の設置 長い廊下の窓際にカウンター席を設け、一人で食事を楽しむ利用者にも快適な空間を提供します。カウンター席は自然光が差し込む場所に配置し、森の中のおしゃれなカフェの雰囲気演出します。

木と白い壁での演出 内部は木と白い壁を中心に演出し、森の中のナチュラルでおしゃれなカフェをイメージします。木の温もりと明るい壁は、食堂の雰囲気を明るく、居心地の良い場所に変えます。